

Canon

EF レンズ

EF50mm F1.8 STM

使用説明書

キャノン製品のお買い上げ誠にありがとうございます。

EF50mm F1.8 STMは、小型軽量で薄型の高画質な標準レンズです。

● STMはStepping Motor（ステッピングモーター）の略称です。

▲ 安全上のご注意

- レンズ、またはレンズを付けた一眼レフカメラで、太陽や強い光源を直接見ないようにしてください。視力障害の原因となります。特に、レンズ単体で直接太陽をのぞかないでください。失明の原因になります。
- レンズ、またはレンズを付けた一眼レフカメラを日光の下にレンズキャップを付けないまま放置しないでください。太陽の光が焦点を結び、火災の原因となることがあります。

取り扱い上のご注意

- レンズを寒いところから暖かいところに移すと、レンズの外部や内部に水滴が付着（結露）することがあります。そのようなときは、事前にレンズをビニール袋に入れて、周囲の温度になじませてから、取り出してください。また、暖かいところから寒いところに移すときも、同様にしてください。
- 直射日光下の車の中などは予想以上に高温になります。レンズの故障の原因になることがありますので、このような場所にレンズを放置しないでください。

使用時のご注意

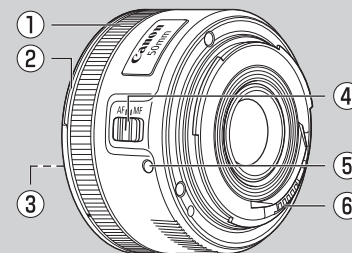
- 本レンズをご使用になる場合は、カメラの最新ファームウェアを弊社ホームページで確認してください。カメラのファームウェアのバージョンが最新でない場合は、最新のファームウェアにアップデートしてください。
- ファームウェアのアップデート方法については、キャノンのホームページで確認してください。

撮影上のご注意

- このレンズは、フォーカスレンズ（ピント合わせを行う役割のレンズ）の駆動にステッピングモーターを用いています。
 1. 電源が入っていない状態でのご注意
電源を切った状態やオートパワーオフで電源が切れた状態では、モーターが作動しないため、次のことにご注意ください。
 - ・マニュアルフォーカスでのピント調整はできません。
 2. レンズの休止状態でのご注意
このレンズは、レンズを操作しない状態が続くと節電のため、カメラのオートパワーオフとは別に休止状態になります。カメラの電源が入っていても、レンズが休止状態の時にはモーターが作動しないため、次のことにご注意ください。
 - ・マニュアルフォーカスでのピント調整はできません。
 - ・レンズの休止状態からの復帰には、シャッターボタンを半押ししてください。

各部の名称

- ① フォーカスリング
- ② フード取り付け部
- ③ フィルター取り付けネジ部
- ④ フォーカスモードスイッチ
- ⑤ レンズ取付け指標
- ⑥ 接点



- 繰り出されたレンズを収納するには、レンズをカメラに取り付けた状態で、∞にAFを行うか、フォーカスリングを操作してください。

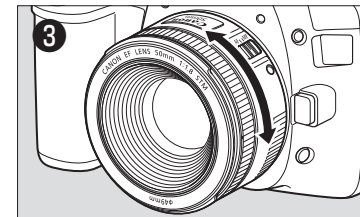
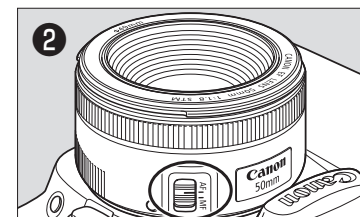
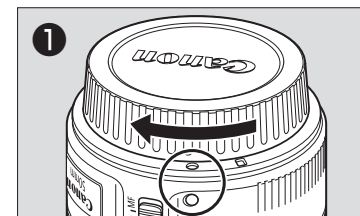
本文中のマークについて

- 撮影に不都合が生じる恐れのある注意事項などが書いてあります。
- 基本操作に加えて知っておいていただきたい事項が書いてあります。

1. レンズの着脱

レンズの着脱方法については、カメラの使用説明書を参照してください。

- レンズを外したときは、接点やレンズ面を傷付けないように接点を上にして置いてください。
- 接点に汚れ、傷、指紋などが付くと、接触不良や腐食の原因となることがあり、カメラやレンズが正確に作動しないことがあります。
- 汚れや指紋などが付着した場合は、柔らかい布で接点を清掃してください。
- レンズを外したときは、ダストキャップを付けてください。取り付けは、図のようにレンズ取り付け指標とダストキャップの○の指標をあわせて時計方向に回します。（図①）取り外しは、逆の手順で行います。



2. フォーカスモードの設定

オートフォーカス(AF)で撮影するときは、フォーカスモードスイッチをAFにします。（図②）マニュアルフォーカス(MF)で撮影するときは、フォーカスモードスイッチをMFにし、フォーカスリングを回してピントを合わせます。（図③）

- カメラのAFモードがONE SHOT AFのときは、AF後に、シャッター半押し状態でフォーカスリングを回すと、任意にピントを調整できます。（フルタイムマニュアルフォーカス）

- フォーカスリングを急回転させた場合、ピント調整が遅れることがあります。
- 電源が切れた状態では、MFでのピント調整はできません。
- AF作動中は、レンズ前側の作動部分に触れないでください。

3. レンズフード（別売）

レンズフード ES-68 は、有害光線をカットするとともに、雨・雪・ほこりなどからレンズ前面を保護します。

フードの赤い取り付け位置マークとレンズ先端の赤指標をあわせ、レンズの赤指標とフードの停止位置マークが合うまで、フードを矢印の方向に回して確実に取り付けてください。（図④）
フードの側面にあるボタンを押しながら、フードの取り付け位置マークとレンズの赤指標が合うまで、フードを矢印の方向に回して取り外してください。（図⑤）

収納時にはフードをレンズに逆向きにかがせることができます。

- フードが正しく取り付けられていないと、撮影画面にケラレが生じることがあります。
- フードの取り付けや取り外しをするときは、フードの根元を持って回してください。フードの先の方を持つと変形して回らなくなることがあります。
- フードが逆向きにかがせられた状態でレンズがカメラに取り付けられている場合は、フードを外した後にレンズをカメラから取り外してください。

4. フィルター（別売）

フィルターは、レンズ先端のフィルター取り付けネジ部（φ 49mm）に取り付けてください。

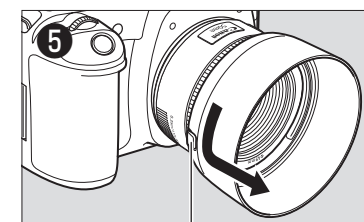
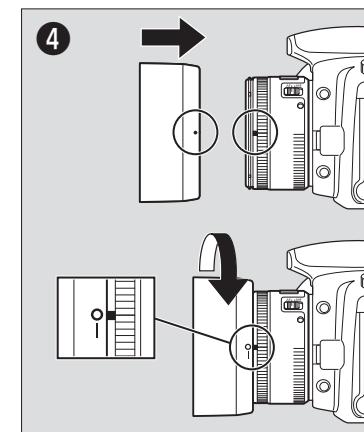
- フィルターは 1 枚のみ使用できます。

5. エクステンションチューブ（別売）

エクステンションチューブ EF12 II/EF25 II を使用して拡大撮影ができます。撮影距離範囲と撮影倍率はエクステンションチューブ仕様表を参照してください。

- 正確なピント合わせのため、MF をおすすめします。

- レンズの長さはマウント面からレンズ先端までの寸法です。付属のレンズキャップおよびダストキャップをつけたときの長さは寸法表示 +23.9mm になります。
- 大きさ・質量表示は本体のみの値です。
- エクステンダーは使用できません。
- クローズアップレンズは使用できません。（レンズの先端が重くなり、フォーカスの動きが不安定になるため。）
- レンズケースは、レンズケース LP1014（別売）を使用。
- 記載データはすべて当社基準によります。
- 製品の仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。



ボタン

アフターサービスについて

1. 保証期間経過後の修理は原則として有料となります。なお、運賃諸掛かりはお客様にてご負担願います。
2. 本製品のアフターサービス期間は、製品製造打切り後 7 年間です。なお、弊社の判断によりアフターサービスとして同一機種または同程度の仕様製品への本体交換を実施させていただく場合があります。同程度の機種との交換の場合、ご使用の消耗品や付属品をご使用いただけないことがあります。
3. 修理品をご送付の場合は、撮影された画像を添付するなど、修理箇所を明確にご指示のうえ、十分な梱包でお送りください。

キヤノン EF レンズホームページ

canon.jp/ef

キヤノンお客様相談センター

050-555-90002（直通）

受付時間〈平日/土/日/祝〉9:00～18:00

〈1/1～1/3 は休ませていただきます〉

※ 海外からご利用の方、または 050 から始まる IP 電話番号をご利用いただけない方は 03-3455-9353 をご利用ください。

※ 受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

エクステンションチューブ仕様表 （別売）

EF50mm f/1.8 STM	EF12 II EF25 II	撮影倍率 (X)	撮影距離範囲 (mm) (inch)
		0.45-0.24	234-325 (9.2-12.8)
		0.74-0.53	204-221 (8.0-8.7)

レンズ仕様一覧表

* 別売

EF50mm f/1.8 STM	画 角			レンズ構成	最小絞り	最大撮影倍率	最短撮影距離	フィルター径	最大径×長さ	質 量	フード*	レンズキャップ	ケース*
	対 角	垂 直	水 平										
	46°	27°	40°	5-6	22	0.21x	0.35m/1.15ft	49mm	69.2x39.3mm (2.7"x1.6")	160g/5.7oz.	ES-68	E-49	LP1014